



2024

7

No.01



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

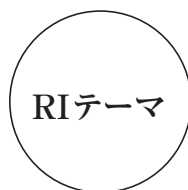


Rotary
第2820地区



国際ロータリー第2820地区
2024-2025年度

ガバナー **大高 司郎**



目 次

RI会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	5
RIとロータリー財団の年次目標	7
地区スローガン・地区目標	8
特別月間 母子の健康月間に寄せて	11
地区幹事・地区会計長挨拶	12
ガバナー補佐・クラブ会長・幹事紹介	13
地区年間予定表（前期）	22
公式訪問に関するお願い	23
地区組織図	24
地区資金予算書	26
My ROTARY 登録状況	29

表紙写真 茨城県北の海、山。まちを訪ねて

高萩市の名勝 花貫溪谷と土岳

阿武隈山地の南端、多賀山地の東側から西の山地を刻む溪谷が花貫溪谷。1973年完成の花貫ダム（写真上）は、深いV字谷に造られた多目的ダム。溪谷の豊かな植生は暖帯と温帯の自然混合林で、花や新緑は谷の入口から奥地へ、秋の紅葉は山から谷を下って、1年中自然観察が楽しめる。紅葉のつり橋と不動滝（下左）。花貫川には高低差を活用して3か所に水力発電所がある。1918年（大正7年）、77.4mのアーチ型水路橋が完成、通称「めがね橋」国登録文化財（下中）。溪谷の奥には、標高599.7mの土岳がそびえる。急な崖路を登ると、山頂は広い芝生で、日光連山や富士山が見える展望台がある。

題字揮毫 高萩ロータリークラブ第31代会長 鈴木啓志（雅号 鈴木 赫鳳）
日展会員 日展審査員（2023年度）



R.I. 会長メッセージ

2024-25年度

国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

(McMurrayRC・米国)

ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム (the Irresistibles) である2024-25年度地区ガバナーの皆さまに向けてお話しでき光栄です。私が皆さまを「マイファミリー」(私の家族) と呼ぶとき、単に親切心からそうしているわけではありません。本当に、皆さまを家族同様に思っています。

今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。

皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。カメラの準備をしますので、ちょっとお待ちください。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き2倍額を上乗せしますが、年次募金目標である5,000万ドルを私たちが達成することが条件となります。

認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

ありがたいことに、活動をしやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック (魔法) が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。

これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和ら



ぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にあります。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくものです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。地区ガバナーである皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれませんが。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。

心からクラブへの帰属意識を持たずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても、DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終るわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー（語り部）が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなのです。

そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェロウシップがあります。これは、平和と開発の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、20年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェロウシップを提供します。これまでに1,800人以上の平和フェロウがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在140カ国以上で活躍しています。



また、オットー&フラン・ウォルター財団（Otto and Fran Walter Foundation）からの1,550万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるバーチェシェヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは2025年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、2025年2月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です（もうすぐ発表する年次テーマではありません）。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。

平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。現地で皆さまにお会いするのが待ちきれません。

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりりと別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。

一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

ということで、前置きが長すぎました。2024-25年度のテーマを聞く準備はできていますか？

では、テーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と女兒の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。この会場でその愛を感じることができます。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

この国際協議会は永遠に続くわけではありませんから、どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。東の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

Stephanie A. Muehlich

2024-24年度国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジックで
行動計画を前進させましょう
Show me the magic again



ガバナーメッセージ

2024-25年度
国際ロータリー第2820地区
ガバナー **大高 司郎**
(高萩RC)

ロータリアンの皆さま、ローターアクターの皆さま、
2024-25年度、第2820地区ガバナーを務めさせていただきます、高萩RCの大高司郎です。当地区は1992年に第2550地区（茨城・栃木）を分割して誕生以来、今年度33年目を迎えます。伝統と格式を大切にしながら、各奉仕部門での素晴らしい活動によって築かれた実績を誇る第2820地区のガバナーを拝命することは、光栄でありながらも責任の重さを感じます。パストガバナーや諸先輩の皆さまが築いてきた当地区の伝統を守りつつ、より一層充実した地区として発展できるよう努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

いよいよ新年度が始まり、私たちは大きな夢と目標に向かって進んでいきます。ロータリーは地域社会に奉仕し、国際的な友情を育む場です。活動は一人ひとりの力が集まって実現するものであり、新年度は新たなチャレンジと成長の機会です。元気なクラブづくりを目指し、より良い社会を築くために努力します。新しい年度には「世界ポリオデー 2820 ポリオ根絶に向けて 茨城がひとつに」プロジェクトが待ち受けており、創意工夫と革新的なアプローチで地域の課題に取り組みます。国際的な連携を強化し、世界中の人々に希望と支援を届ける努力を続けます。今年度も柔軟に地域の変化に対応し、積極的に社会に貢献していきます。そして、2024-25年度は地区内全55クラブが5年連続クラブ優秀賞（ロータリー賞）受賞を目指し、ローターアクトクラブはクラブ優秀賞の初受賞にチャレンジします。

皆さまの力と情熱があれば、私たちはどんな困難にも立ち向かうことができます。一緒に、素晴らしい年度を作り上げましょう。

さて、2024年国際協議会は世界中のガバナーエレクト、パートナー、シニアリーダーが一堂（1000人規模）に会して、1月7日から11日まで米国フロリダ州オーランドで開催されました。1月8日の本会議において、ステファニーA.アーチックRI会長エレクトのテーマ「ロータリーのマジック」が高らかに発表されました。アーチック会長は、テーマのいきさつについてMcMurrayロータリークラブの一員としてドミニカ共和国での浄水器設置活動に参加し、その経験からロータリーのマジックを目の当たりにした少年たちが浄水器の設置に驚き、安全な水の変化を「魔法（マジック）」として捉えていたエピソードを説明しました。ロータリーが人々の生活を変える力を認識したとし、クラブでの体験を魅力的なものとし、ロータリーの人道的な活動を拡大するよう呼びか

けました。また、会長イニシアティブとしての最優先課題を「会員増強を図る行動計画の推進」(3-Year Targetsの導入)、「積極的な平和を通じて分断された世界を癒やす」(4つのテスト・ピースポールプロジェクト)、「継続性」(前任者や後任者と協力する・クラブが取り組んできたことや、クラブに根付いてきたことに目を向ける)としました。

それらに鑑みて、私は2024-25年度の地区スローガンを「BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”」としました。ロータリーの行動計画、「四つの優先事項」(より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかかわりを促す・適応力を高める)を前進させることを目標にしました。これからの一年間、私たちは共に成長し、地域社会にインスピレーションを与える活動を展開していきます。さらに、地区は「3-Year Targets」を導入し、単年度から、複数年(継続性)へと移行します。これら、RI会長テーマや地区スローガンについては、今後の研究会やガバナー公式訪問の機会に改めて紹介させていただきます。

最後に、地区内のクラブやメンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。私たちの活動は皆さまのご協力とご支援に支えられています。ロータリーのマジックで行動計画を前進させましょう。共に元気な一歩を、共に成長するクラブを目指し、一層のご協力をお願いいたします。



ステファニー A. アーチック国際ロータリー RI会長 (右) と
ガバナー夫妻 (中、左) の記念撮影 (国際協議会場)

2024-2025 年度

国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

ロータリーの新しいビジョン実現に向け、新たな行動計画の土台となる4つの優先事項が定められました。

優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025年までに20億2,500万ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」の目標

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項3 「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
2. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先事項4 「適応力を高める」の目標

1. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

国際ロータリー第2820地区 2024-2025年度

【スローガン】

BE THE INSPIRATION

“ 元気な一歩、共に成長するクラブの力 ”

【地区数値目標】

- ① 会員数（ロータリアン・ローターアクター） ～ 会員基盤の向上 ～
地区 2,000名
 - ・ロータリークラブ 純増 2名
 - ・ローターアクトクラブ 純増 1名

- ② ロータリー財団寄付 ～ 世界でよいことをしよう ～
 - 1. 年次基金寄付 150ドル/人
 - 2. ポリオ・プラス基金 30ドル/人
 - 3. 恒久基金(ベネファクター) クラブ一人以上
 - 4. ポリオ・プラス・ソサエティ(PPS)会員 クラブ一人以上
 - 5. ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)会員 地区100人以上維持

- ③ 米山記念奨学会 ～ 米山奨学生・学友の育成、支援のために ～
会員一人当たり25,000円（普通寄付5,000円、特別寄付20,000円）

- ④ My ROTARY会員登録 75% ～ 活動に欠かせない情報源 ～

【地区行動目標】

- ① DEI(Diversity 多様性 Equity 公平性 Inclusion インクルージョン)の促進
 - (1)多様性：全てに門戸を開放する
 - (2)公平性：誰もが公平で大切にされる
 - (3)インクルージョン：多様性を受け入れ、互いに認め合い、皆が活躍できる
このような環境であるかを常に認識し、DEIを推進してください。

- ② 平和の推進者になる
ロータリー平和センターの支援。平和構築手段の一つ「四つのテスト」を実践する。

③ クラブ優秀賞(ロータリー賞)へのチャレンジ

クラブ優秀賞は、その年のクラブの優れた業績や功績を表彰します。目標には会員増強・維持、持続可能なプロジェクトの立案、財団の寄付、地域社会での奉仕活動や公共イメージ向上等が含まれています。分区の推進者はガバナー補佐、地区は目標達成を支援します。

目標：全ロータリークラブ、ローターアクトクラブの受賞。

④ 会員維持率の向上と増強

クラブにDEIを取り入れ強化し会員維持力を高めましょう。会員増強は最大の課題、「仲間を増やし共に成長しよう」。待っていても、入会希望者は現れません。全会員が協力し、クラブを活性化しましょう。7月から10月までの4か月間を会員増強強化期間とし、11月の地区大会で表彰いたします。

⑤ ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です。ポリオ根絶99.9%、残り0.1%の実現まであと一歩。当年度はエンドポリオに重点を置き、ここに精力を集中させたいと考えます。2024年世界ポリオデーに共に行動しましょう。青少年奉仕委員会を中心にエンドポリオをテーマとする「奉仕プロジェクト」を企画します。全クラブの参加をお願いします。

⑥ 公共イメージの向上

公共イメージ委員会とIT委員会を統合、「公共イメージ・ICT(情報通信技術: Information and Communication Technology)推進委員会」とします。積極的に活動しロータリーの認知度向上に努めましょう。ロータリー活動に貢献できるようなデジタル化を推進します。正しいロータリーロゴの使用。

⑦ 青少年育成事業の推進

未来を担うリーダーの育成につとめましょう。インターアクト、青少年奉仕、RYLA、青少年交換への支援および協力を強化しましょう。

⑧ ローターアクトクラブの活性化

今年度から青少年奉仕委員会から独立、ガバナー直轄委員会とします。クラブの活性化を図ります。将来のヤングロータリアンとしてのローターアクトとの交流を深めましょう。クラブ財団寄付目標を100ドル(寄付分類は問わない)とします。RAC合同ガバナー公式訪問を実施します。

⑨ 地区研修委員会が地区ラーニング委員会に

研修モデルからラーニングモデルの変更について、地区研修リーダーは地区ラーニングファシリテーターに、クラブ研修リーダーはクラブ・ラーニングファシリテーターとなります。会員自らが積極的にラーニング(学び)を関与しましょう。クラブにラーニングファシリテーターの任命を奨励します。



⑩ My ROTARY(マイロータリー)の登録推進

各種手続きや記録の確認がオンライン上で行えるのみならず、様々なロータリー情報に触れ、研修の機会も得ることができ、活動に欠かせない情報源です。ラーニングセンターには基本的な情報を学べる豊富なコースや学習プランが含まれています。

My ROTARYを活用しましょう。

⑪ RLIへの積極的参加

RLI(Rotary Leadership Institute)は、ロータリーにおける最大の草の根の指導力育成プログラムです。一人でも多くのメンバーがロータリー活動に理解を深め、活力あるクラブ創生に力を出せるよう参加推進をお願いします。特に会長は率先して参加してください。

⑫ メークアップの奨励

クラブ間交流を深め、情報交換をし、他クラブの雰囲気を経験し、他クラブにおける見習う点を自クラブに取り入れましょう。他クラブの活動を垣間見ることも必要、名刺交換から交流が始まります。まずは近隣クラブのメークアップから始め、クラブでの体験を魅力的なものにしましょう。

⑬ ロータリー希望の風奨学金への支援を継続

東日本大震災により災害遺児となった青少年への教育支援の輪を広げましょう。大久保年度を引き継ぎ、公式訪問に例会で一人1000円の寄付を任意でお願いいたします。

⑭ 国際大会(カルガリー)へ参加しましょう

ロータリー最大のイベントで、世界中から集うロータリアンと友情と親睦を深め一生の思い出をつくりましょう。カルガリー(カナダ)国際大会は2025年6月21日(土)～25日に開かれます。皆さまの参加をお待ちしています。

特別月間 母子の健康月間に寄せて



2024-25年度国際ロータリー第2820地区
社会奉仕総括委員長 **関本 淳一**（土浦RC）

本年度、地区社会奉仕委員会総括委員長を仰せつかりました関本淳一（土浦RC）です。一昨年、昨年に引き続きまして3年目の総括委員長ラストイヤーとなる本年は、月

信編集委員長のお取り計らいにより、7月「母子の健康」、10月「地域社会の経済発展」、12月「疾病予防と治療」、3月「水と衛生」、4月「環境」の5回、それ以外に社会奉仕委員会の報告等で数回、当紙面に登場させていただく事となりました。このように多数の寄稿機会を頂きましたので、あまり畏まらず、読みやすいコラムのような文章にできればと考えております。お目汚しですが、どうぞお付き合いください。

さて、「母子の健康」です。「母親」と「子ども」の「健康」を考える月。

なにかとジェンダーだの、L B G TにQが付いたり、さらに+（プラス）を足したり、ちょっと見ない間にあつという間に成長する他人の子供のように変化・成長を遂げるこの境界で、なんで「女性」でなくて「母親」なんだ、とか、男手一つで子育てしてるオレは蚊帳の外なのか、とか色々ご意見が出てこないのは、ロータリアンが沈黙を美德とするからなのか、はたまた「母子と健康月間」が外部に認知されていないからなのか。何れにせよロータリークラブとしては、子供は世界の宝だ、そしてそれを育てるお母さんも健康でなければ宝である子どもを育てていくことはできないんだ、と決意して何か行動を起こしているんですね。

では一体、具体的にはどんな活動をしているのでしょうか。

「母子の健康」・「ロータリークラブ」で検索すると、数多の検索結果がヒットして、どれも概ね同じ内容が書かれています。

- ・毎年5歳未満で590万人（1万7千人／日）が死亡している。
- ・死因は予防できるものがほとんど。
- ・ロータリーでは教育や予防接種を行っている。

5歳未満590万人、この数字は日本にいとあまり実感が湧きません。因みに日本政府は同数値に対しては未発表（一説によると400人前後）。正直なところ、いまいちピンとこないですね。

母数や集計方法その他の違いにより、統計上の子どもの「死亡者数」には大きな差異があったため、次は比較的差異の少なかった「0歳児の死亡率」（1000人当たりの死者数）から考察してみたいと思います。各地域・国での1000人当たり死者数は以下のとおり。

- ・世界全体 27人
- ・アフリカ地域 53人

- ・先進国全体 5人
- ・日本 0.04人

平明に言えば、途上国の子どもたちの死亡率は、日本の10倍・100倍ではなく、1000倍・10000倍の単位でした。ここまで乖離があると、実感として、若しくは直感的に理解するのが困難な差だと思います。

「子どもの健康」を考えた場合、そこには「身体的な健康」と「精神的な健康」があり、世界的にみれば重視されるのは、ポリオ撲滅や飢餓根絶のような命をつなぐ「身体的な健康」になります。しかしこのような日本の現状に鑑みれば、我が国で重視されるのは、引きこもりや発達障害・虐待のような「精神的な健康」になってくるでしょう。どちらの方が大切という問題ではないですが、思考の土台と方向性が同じではない、という理解をしておくことは重要だと思います。

これは国際ロータリーと日本のロータリーにも言えることではないでしょうか。

世界的にみれば、人口は爆発的に増加していますし、それ以上にエネルギー消費は増え続け、物価・金利は上昇しています。ロータリークラブの会員数は世界で122万人以上、インドや韓国では会員数が増加の一途を辿っており、世界的にもクラブ数が増加、特にローターアクトクラブの活動が活発化しています。

翻って日本はどうでしょうか。世界水準と乖離があることは実感として理解できると思います。

日本のロータリーも国際ロータリーの一員であり、その目標や理念はR I会長のそれに沿って活動していくことが大切だと思います。ただ、世界的な目標・理念と、私たちの現在置かれている状況を踏まえたそれを、完全に適合・迎合させるのは、いたずらに物事を困難化または矛盾させる可能性があります。

世界基準で行っていく活動と、日本の実情を基礎としてアレンジした活動を同時に行うこと、両輪として活動していくことも素晴らしいことではないでしょうか。今回でいえば、国際協力の柱として「身体的な健康」を、国内に向けては主として「精神的な健康」を推進していけば、きつともっとロータリーは輝ける！のではないかと感じます。

マクロとミクロ、俯瞰と仰望、R Iと2820。北極星を視界に捉えながら、水面を船灯で照らす、いつの時代も航海を無事に終えるためには必要なことですね。大高丸の安全運航を祈念して、本稿を閉じさせていただきます。

纏まりのないコラムとなりましたが、初めての試みですので、どうぞロータリーの友情に免じてご容赦ください。次回は10月「地域社会の経済発展」でお会いしましょう。





地区幹事あいさつ

2024-25年度
国際ロータリー第2820地区
地区幹事 **大河原 浩**
(高萩RC)

今年度、地区幹事を務めさせていただきます大河原浩です。高萩ロータリークラブからは初めてのガバナー輩出となり、地区幹事の責任を重く受け止めております。

地区幹事の任期はエレクト年度から始まり、ガバナー年度、直前ガバナー年度の3年間ですが、まずは、エレクト年度、三大セミナーが無事終了できましたことを、ご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。特に、第1分区のコ・ホストクラブの会員の皆様には多大なご支援を頂きました。改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、7月から、いよいよ大高ガバナー年度が始まります。

テーマは「BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”」です。

このテーマの実現に向けて、大高ガバナーの元、ガバナー補佐の皆様、地区委員会の皆様と力を合わせ、各クラブの会長・幹事様の活動に少しでも役に立てるよう頑張っていまいります。

どうぞ、よろしく願い申し上げます。



地区会計長あいさつ

2024-25年度
国際ロータリー第2820地区
地区会計長 **石 君平**
(高萩RC)

2024-2025年度地区会計長を務めます高萩ロータリークラブの石 君平です。4月14日の地区研修・協議会にて「地区資金及び基金・協力金予算」を、クラブ会長にご承認をいただき成立いたしました。ありがとうございました。

会員お一人当たり22,440円のご負担により、大高ガバナー年度の地区の運営・活動が行われます。この貴重な資金を適正に管理し、地区を活性化させクラブを支援してまいります。

本年度も引き続き、ご協力・ご指導よろしくお願い申し上げます。

■ 第 1 分 区 ■



2024-2025年度
第1分区ガバナー補佐

佐々木幸一
(日立RC)

2024-25年度第1分区ガバナー補佐を拝命しました、日立ロータリークラブの佐々木幸一です、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ロータリー歴は1998年8月に入会して、職業分類は一般貨物自動車運送業、2012-13年度会長、2015～18地区青少年奉仕インターアクト委員を務めさせていただきました。その間、日立RCから清水清・藤居彰一2名のガバナーを輩出して地区大会・3大セミナー等で貴重な経験も致しました。

第1分区は日立市・高萩市・北茨城市エリアの7クラブで構成されています。

本年度は当分区から高萩ロータリーの大高司郎ガバナーを輩出できましたので、ガバナー公式訪問や11月9・10日に開催される地区大会の盛会に向けて、7クラブ会長・幹事会さらには各位クラブの全会員が一致協力してすすめてまいります。

本年度RI会長ステファニーA.アーチック会長は『ロータリーのマジック』と高らかに発表しました。そして大高司郎ガバナーは第2820地区スローガンを、BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”と定められました。

これらのテーマにそって、ガバナー補佐としてクラブのサポートに尽力したいと思います。

最後に、第1分区の今年度のテーマを【楽しいロータリー】とさせていただきます。

大高ガバナーをはじめ素晴らしい方々との出会いを楽しみにしています。

第1分区の皆さん、楽しい1年間にしましょう!!

日立RC



会長 征矢 亘
幹事 矢部 悦子

日立南RC



会長 朝日 正道
幹事 須田 聡

高萩RC



会長 今川 隆
幹事 滝 徳宗

北茨城RC



会長 丹 幸一郎
幹事 永澤 俊

日立港RC



会長 島田 洋次
幹事 菅原 光雄

日立北RC

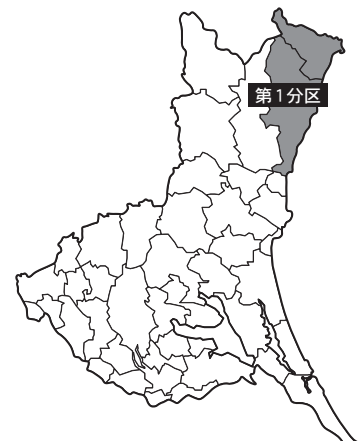


会長 宇野 貴法
幹事 森嶋 修一

日立中央RC



会長 黒羽 豪
幹事 本間 幸江



■ 第2分区 ■



2024-2025年度
第2分区ガバナー補佐

大谷 昌吉
(常陸太田RC)

2024-2025年度第2分区ガバナー補佐を拝命いたしました、常陸太田ロータリークラブの大谷昌吉と申します。1999年1月入会で、2011-2012年度に会長を務めました。

2024-2025年度ステファニーA.アーチック国際ロータリー会長のテーマ「THE MAGIC OF ROTARY」(ロータリーのマジック)の基、大高ガバナーより第2820地区スローガンとして「BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”」が提唱されました。

さらに地区数値目標として4項目、地区行動目標として14項目が掲げられました。

この地区スローガンとそれぞれの目標には、ロータリーを成長させるには、地域社会に対する貢献と多様性を尊重した活動を行うことで、現会員を維持し、新たな仲間を受け入れ「居心地の良いクラブ」にするというガバナーの想いが込められていると理解しています。

ガバナー補佐(アシスタントガバナー:以下AG)の第1の役割(責務)として、このそれぞれの目標をクラブ会長と確認共有して、目標達成に向けての進捗を協議していくことだと考えています。

さらに、クラブと地区を結びつける存在として、クラブにとって重要なリソースとなる存在として、AGは各クラブのモチベーションを高め活性化させるための支援をする責務があります。年4回程(公式訪問含む)のクラブ訪問と同じく年4回程の会長・幹事会を通じて、AGとクラブ会長が効果的に協力することにより、ロータリーを強く魅力的なものにしていく一助を担えればと思っています。

その上で、目標達成に向けてのAGとクラブの共通のツールであるロータリークラブ・セントラルの活用は重要です。この活用により、クラブ内で目標をシェア(共有)できて、共通目標に向かって活動すればクラブの結束が強くなり、達成の可能性も高まります。

私は、クラブ内のこの会員相互の情報・目標の“共有”こそがロータリーの活動の肝だと考えています。

8つの分区のAGが相互に協力し合いながら地区を盛り上げて、会長・幹事をはじめ各RCの会員の皆さんと楽しいロータリーの活動を共にしていければと願っています。

どうぞ1年間よろしくお願いたします。

那珂湊RC



会長 川崎 誠
幹事 吾妻 蒼遙

常陸太田RC



会長 澤島 栄寿
幹事 小林江津子

大子RC



会長 杉 雅幸
幹事 齋藤 靖弘

大洗RC



会長 海野 宗久
幹事 田山 勝造

勝田RC



会長 海野 泰司
幹事 砂押 勇人

東海那珂RC

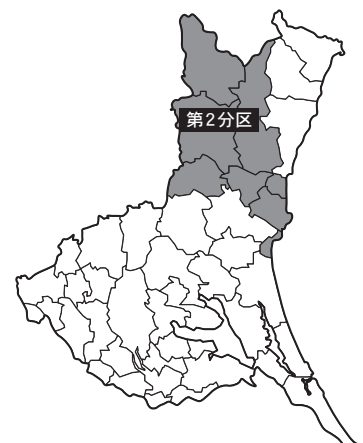


会長 海野 宏幸
幹事 厚見 和則

ひたちなかRC



会長 小林 英雄
幹事 河野 裕行



■ 第 3 分 区 ■



2024-2025年度
第3分区ガバナー補佐

高原 裕
(水戸RC)

大久保博之ガバナー年度では、地区幹事として第2820地区の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、この度2024-25年度大高司郎ガバナーのもと、第3分区ガバナー補佐を拜命いたしました。ガバナー補佐の責務は、RI会長の方針と大高司郎ガバナーの方針を分区内クラブに伝達し、目標達成のためにクラブの支援をするということです。

今年度のRI会長のテーマは「ロータリーのマジック」です。

ステファニーA. アーチック会長がご自身の体験から「ロータリーが人々の生活を変えることが出来る」を認識し、ロータリーの人道的な活動を拡大するように呼び掛けています。

【ロータリーのビジョン】

地区内ロータリークラブが目的を理解し、中核的価値観を基に個性的あるビジョンを掲げ、多様性・公平さ・インクルージョンなどの柔軟性を備えた「活力あるクラブ」となるように支援する

【地区重点目標】

1. DEIの促進
2. 会員維持率向上と新会員の受け入れ
3. ポリオ根絶のための地区プロジェクト
4. 公共イメージの向上
5. 青少年事業の推進
6. ローターアクトクラブの活性化
7. クラブ優秀賞（ロータリー賞）への100%チャレンジ
8. My ROTARYの登録推進
9. RLIへの積極参加

以上、9項目を重点とし、3分区は活動してまいります。

【地区スローガン】

「BE THE INSPIRATION」

第3分区は（水戸RC）（笠間RC）（水戸西RC）（水戸南RC）（友部RC）（水戸東RC）（水戸さくらRC）（水戸好文RC）の8クラブで構成され、約430人の会員がおります。

各クラブが、その地域の特性を活かしながら活動すること、そして8クラブが連携して活動することでより大きな力を発揮できるのではと思います。

是非、ロータリーのマジックを実現しましょう！ 最後になりますが会員の皆様のご支援ご指導よろしくようお願い申し上げます。

水戸RC



会長 櫻場 誠二
幹事 佐藤平八郎

笠間RC



会長 永田 康弘
幹事 大枝 輝生

水戸西RC



会長 伊藤 公一
幹事 黒木 雅宏

水戸南RC



会長 兼子 充裕
幹事 宇留野秀一

友部RC



会長 菅谷 和徳
幹事 根本 玄

水戸東RC



会長 佐川 真治
幹事 木内 洋一

水戸さくらRC



会長 小林 一裕
幹事 大澤 一茂

水戸好文RC



会長 川上美智子
幹事 五十嵐 博



■ 第4分区 ■



2024-2025年度
第4分区ガバナー補佐

小林 隆一
(古河中央RC)

国際ロータリー第2820地区 2024-25年度大高司郎ガバナーの基、第4分区ガバナー補佐を仰せ付けられました古河中央ロータリークラブ所属の小林隆一と申します。

私のロータリー歴は、1998年3月にチャーターメンバーとして入会し2010～11年度 第14代会長として務めさせて戴きました、地区委員会等の経験もなくロータリーライフを過ごしてまいりました。

当初は「順番だから」と言われ、軽い気持ちでガバナー補佐エレクトを受けましたが、日にちが経つと大変なことを受けたのではと後悔が始まりました。

そんな時期に、昨年11月11日24-25ガバナー補佐会議を皮切りに、12月23日地区ラーニング委員・ガバナー補佐会議、1月23日第1回ガバナー補佐・総括委員長合同会議、3月3日地区チーム研修セミナー (DTTS)、3月23～24会長エレクト研修セミナー (PETS)、4月14日地区研修・協議会 (DTA) 等の研修に参加させて戴きました。それで、補佐とは何をすることが多少理解できた様な気がします。

ステファニーA. アーチックRI会長は「ロータリーのマジック」で世界を変えようと言っています。

第2820地区目標であります「BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”」を基本に、第4分区の古河RC、境RC、岩井RC、古河東RC、古河中央RCの皆様に伝え、数値目標では((各クラブ純増2名))、((ロータリー財団寄付150ドル/人、ポリオ・プラス基金30ドル)) ((米山記念奨学会25,000円/人)) また、「3-Year Targets」を2024年7月より実施。10月に笠間で行われるポリオ啓蒙イベントへの参加協力をお願いします。

大高司郎ガバナーの地区方針を十分理解してもらい、大高司郎ガバナーの補佐として第4分区の会長・幹事さんとコンセンサスを得ながら任を全うしたいと思います。「ロータリーのマジック」の基で。

古河RC



会長 間下 保
幹事 伏木 利光

境RC



会長 関 一美
幹事 小林 昭仁

岩井RC



会長 張替 貞夫
幹事 後藤みちよ

古河東RC



会長 柿沼 利明
幹事 井上 学

古河中央RC



会長 草場 昭二
幹事 岡安 利夫



■ 第 5 分 区 ■



2024-2025年度
第5分区ガバナー補佐

笠倉 勉
(しもだて紫水RC)

2024-2025年度大高年度第5分区ガバナー補佐を拝命いたしました、しもだて紫水ロータリークラブの笠倉勉です。ロータリー歴は23年目になり、2013-2014年にクラブ会長、2015-2018に地区のクラブ管理運営委員長を務めさせて頂きました。現在はロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会委員を務めています。

2023年11月11日の大高年度ガバナー補佐会議からスタートし、2024年3月の3大セミナーにも参加してガバナー補佐の責務・役割等を勉強させて頂きました。

大高年度スローガン「BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”」を掲げました。地区数値目標として、会員数・財団寄付金・米山記念奨学金・My ROTARY登録数、地区行動目標は14項目を提示しました。ガバナー補佐として、大高年度が出された目標達成の実現に向けて分区内の各クラブをサポートし、全会員が情報を共有できるようにしていきたいと思っております。

分区内の運営方針

- 1, 7クラブの会長・幹事グループライン作成で、各クラブの状況・プログラム等の共有を図ります。
- 2, 7クラブのクラブ優秀賞の獲得、My ROTARYの登録状況等を定期的に情報共有していきます。
- 3, 7クラブのプログラムの共有に伴い、他クラブの雰囲気や体験・活動の参加、又は、興味ある卓話者の話を聞けるようにメーカーアップの推進をしていきます。
- 4, 7クラブの更なる親睦を深める為に、7クラブ合同例会を開催します。

7クラブの活動が更に活発になり、楽しいクラブ運営ができるように、努めて参りますので、1年間宜しくお願いします。

下館RC



会長 宮田 憲一 幹事 潮田 武彦

結城RC



会長 齋藤 章 幹事 初見 寿秋

真壁RC



会長 木口 光弘 幹事 柳田 隆

下妻RC



会長 宇田川真由美 幹事 杉田 渉

しもだて紫水RC



会長 糸川 秀樹 幹事 大山 晴夫

筑西きぬRC



会長 森 久仁子 幹事 竹野 信吾

岩瀬RC



会長 藤井 宗一 幹事 仁平 俊



■ 第6分区 ■



2024-2025年度
第6分区ガバナー補佐

清野 宏之
(土浦南RC)

2024-2025年度大高司郎ガバナー年度第6分区ガバナー補佐を拝命いたしました、土浦南ロータリークラブの清野宏之でございます。

第6分区は石岡ロータリークラブ、土浦ロータリークラブ、土浦南ロータリークラブ、つくば学園ロータリークラブ、石岡87ロータリークラブ、土浦中央ロータリークラブ、つくばシティロータリークラブ、阿見ロータリークラブ、つくばサンライズロータリークラブの9クラブがあります。9クラブとも個性が強くそれぞれに訪問させていただくのが楽しみなクラブです。

私自身は地区の委員を経験したことがなく、昨年(2023年)11月のガバナー補佐会議からガバナー補佐・総括委員長合同会議、そしてDTTS、PETS、DTA等の会議に出席し、ガバナー補佐が担うべき職務について、大高司郎ガバナーからご指導をいただいております。

また、私の行動計画は今年度のステファニーA.アークチック国際ロータリー会長テーマ「ロータリーのマジック」をどう実践していけばよいかを自問自答しながら、分区内の9クラブの会長・幹事をはじめとする皆様と対話していくことだと考えております。

具体的にはクラブに属する会員がそれぞれに創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるように分区内の会長・幹事が行動していけることを、後押ししていくこととなります。クラブ会員が何を望んでいるのか? 9クラブを訪問することで直に会員のお声をお聴きすることもその役目の一つとなることと思います。

そのためにまず各クラブ会長が中心となって策定する年度計画をよく拝見し、特にMy ROTARYの登録や会長・幹事を中心とするクラブ役員会のロータリークラブ・セントラルの活用(ポリオ撲滅のため等へ寄付目標や会員増強目標の設定と進捗状況の確認)については常に分区内の会長・幹事と連絡を密にして参る予定です。

引継ぎを含め9クラブに4回ほど訪問させていただく予定ですが、大高司郎ガバナーのお考えをご理解いただくことと、各クラブでお作りになる現況報告書を拝見し、各クラブの素晴らしいところを発見し、その強みをよりクラブ戦略計画に活かしていただくためのサポートができれば私のミッションは果たされるということになります。

結果として9クラブ全てがクラブ優秀賞受賞ということにつながりますので、1年間お付き合いをいただきますようお願い申し上げます。

石岡RC



会長 山本 進
幹事 高橋 恒士

土浦RC



会長 原田 博夫
幹事 廣瀬 正

土浦南RC



会長 完賀 浩光
幹事 栗野 哲雄

つくば学園RC



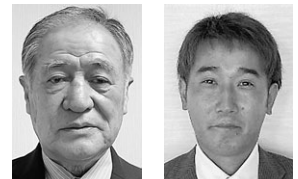
会長 菅原 俊
幹事 広瀬 貴之

石岡87RC



会長 竹内 盛恭
幹事 廣瀬 威雄

土浦中央RC



会長 国分 貢
幹事 二宮 靖幸

つくばシティRC



会長 石山 武
幹事 和田 栄

阿見RC



会長 久保谷 充
幹事 石井 早苗

つくばサンライズRC



会長 田頭 純子
幹事 森 美智子



■ 第 7 分 区 ■



2024-2025年度
第7分区ガバナー補佐

久保田春康
(取手RC)

2024年-2025年度 第2820地区 第7分区のガバナー補佐を拝命いたしました取手RCの久保田春康です。大高ガバナーはスローガン「BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”」を基に多くの目標を掲げておられます。

私は各クラブ（水海道RC、牛久RC、竜ヶ崎RC、龍ヶ崎中央RC、守谷RC、取手RC）にガバナーの目標を伝えて地区とのパイプ役が仕事だと思っております。

各クラブへの公式訪問、インターシティミーティング、親睦ゴルフ大会を通じて、分区内の親睦が図れる事を祈念します。

今回、取手RCは会員数が20名に至らず小数のため、龍ヶ崎中央RCにIM、親睦ゴルフを守谷RCにお手伝いを頂いております。

第7分区内の皆様の御協力を頂きながら1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

竜ヶ崎RC



会 長 海老原次男
幹 事 杉野 訓男

水海道RC



会 長 五木田裕一
幹 事 大澤 清

取手RC



会 長 宇田川滋隆
幹 事 鴻巣 智和

牛久RC



会 長 野口 剛志
幹 事 兼平 信一

守谷RC



会 長 遠藤 榮治
幹 事 橋本 秀明

龍ヶ崎中央RC



会 長 大原 浩行
幹 事 川上 勉



■ 第8分区 ■



2024-2025年度
第8分区ガバナー補佐

金子 大作
(波崎RC)

2024-25年度第8分区のガバナー補佐を拝命しました、波崎ロータリークラブの金子大作です。よろしくお願い致します。

2024-25年度ステファニーA. アーチャック国際ロータリー会長は4項目の優先事項を掲げテーマは「ロータリーのマジック」です。

- 優先事項1 より大きなインパクトをもたらす
- 優先事項2 参加者の基盤を広げる
- 優先事項3 参加者の積極的なかわりを促す
- 優先事項4 適応力を高める

そして、大高ガバナーはスローガン「BE THE INSPIRATION」に基づき、4項目の地区数値目標、14項目の地区行動目標を掲げました。これらの目標を達成するために地区とクラブ・会員への連絡を密にし関係強化を図りたいと思います。

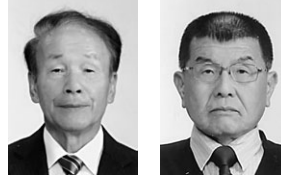
第8分区は銚田ロータリークラブ・鹿島臨海ロータリークラブ・玉造ロータリークラブ・波崎ロータリークラブ・鹿島中央ロータリークラブの5クラブそして鹿島臨海令和ロータリー衛星クラブ、会員120名前後でここ数年推移しています。各クラブ共会員増強には力を注いでいますが、苦戦しているのが現状です。よって各クラブの発展、会員の維持と増強に次の項目を掲げます。

- ①会員維持率の向上と増強
- ②DEIの促進
- ③My ROTARYの登録推進
- ④クラブ優秀賞の獲得
- ⑤公共イメージの向上
- ⑥5クラブの会員親睦
- ⑦ガバナー公式訪問のサポート
- ⑧年3回の会長・幹事会の開催

以上の8項目を重点とし活動してまいります。

本年度、第8分区では2025年2月2日（日）に鹿島中央ロータリークラブの30周年記念式典、2月9日（日）に白戸伸久IMリーダーのご指導のもとIMが開催されます。2週続けての開催により会員の皆様にはご負担をお掛け致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。クラブが活気に満ち、共感を呼び起こし、クラブメンバーが協力して成長していけるよう各クラブ及びメンバーの地区との橋渡しとして活動してまいりますので、よろしくお願い致します。

銚田RC



会長 鬼澤 明 幹事 白川 正隆

鹿島臨海RC



会長 柳堀 利勝 幹事 福富 庄治

玉造RC



会長 茂木 宏一 幹事 埴 真樹

波崎RC



会長 西條 健一 幹事 遠藤 貴之

鹿島中央RC



会長 佐藤 敏近 幹事 飛田喜代志



■ 茨城ロータリーEクラブ ■



2024-2025年度
国際ロータリー第2820地区
茨城ロータリーEクラブ会長

謝 佳



会 長
謝 佳



幹 事
徐 佳鋭

この度、2024-2025年度国際ロータリー第2820地区茨城ロータリー Eクラブ会長を拝命いたしました謝佳と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

ロータリーとの出会いは、大学生のときでした。ロータリークラブが主催する「一日里親」の活動で、友人に誘われて参加いたしました。児童養護施設の子供を連れて、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでアトラクションに乗り、レストランでクリスマスパーティーを開き、一日を過ごすプログラムでした。その日から、既に十年以上の月日が経ちますが、子供たちが列を並び、笑顔で帰る姿は薄れていくことなく、しっかりと記憶に残っています。

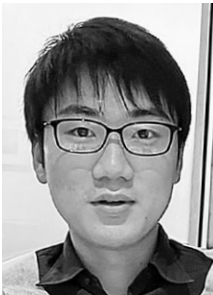
なぜこのお話を書くかという、当クラブの会員は、米山奨学生と財団奨学生出身者が多く、ほとんどの会員が、大学生のときから、ロータリーの存在を知り、ロータリーとの関わりがあったからです。それを通じて、友の輪の大切さを学び、奉仕精神の素晴らしさ等、色々身近で見る事ができ、今Eクラブという形でロータリーの活動に関われるのは、これまでのご縁のおかげであり、更にその輪

を広めていきたいと思う気持ちが強くなってきました。

当クラブは、2019年に設立された若いクラブです。クラブ設立後すぐに、コロナが猛威を振るい、会員同士が会えず、オンラインのみの日々は、コロナが落ち着くまで続きました。その中、スポンサークラブである水戸西ロータリークラブの高橋賢吾パストガバナー、黒木雅宏アドバイザー（2024-2025年度水戸西ロータリークラブ幹事）の多大なご指導、ご協力の下、クラブ活動の継続ができたと思います。この場をお借りし、深く御礼を申し上げます。

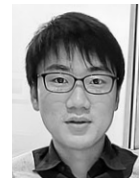
大高司郎ガバナーは、「BE THE INSPIRATION “元氣な一歩、共に成長するクラブの力”」を地区スローガンに掲げました。ダイバーシティの促進やポリオ根絶など、社会にとっても有意義で重要課題である項目を目標とされています。当クラブも微力ながら尽力していく所存です。より一層のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。大高年度が最高に盛り上がることを心から願って、ご挨拶とさせていただきます。

■ 地区ローターアクト ■

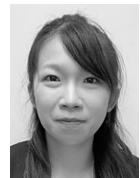


2024-25年度
国際ロータリー第2820地区
地区ローターアクト代表

原 悠樹
(茨城県北RAC)



会 長
原 悠樹
(茨城県北RAC)



幹 事
青木 菜摘
(水戸RAC)

日頃より地区ローターアクトの活動にご支援賜りありがとうございます。

24-25年度地区ローターアクト代表を務めます 茨城県北ローターアクトクラブ所属の原悠樹と申します。

23-24年度では、地区内のアクト（ローターアクトクラブに所属している人のこと示す）は他地区での行事に参加した経験が少なく他地区の地区大会に行くことで、モチベーション向上とアクトの活動にもっと積極的に参加してもらおうという目的で、第2780地区（神奈川西部）（開催日：2024年12月10日）の地区大会に8名が参加しました。当該大会では、横須賀の軍港など観光名所を見学し、他地区のロータリアンさんやアクトとの交流の中で他ローターアクトクラブの現状や会員増強のための工夫などを学ぶことができました。さらに、地区大会の開催に向けて会場設営や司会進行、受付など参考になりとても勉強になりました。

他地区大会に参加した甲斐もあり、4年ぶりの開催となったRID2820ローターアクト第32回地区大会（開催日：2024年4月20日）では、茨城県の魅力を感じただけのメインプログラムを企画・実施し、懇親会の余興は特に参加者から好評いただきました。

24-25年度では、2025年5月ごろに第33回地区大会の開催を予定しております。

地区大会はローターアクトクラブの活動を知っていたくよい機会となりますので、ぜひローターアクトクラブとあまり関わりがないロータリアンの皆様にも参加について前向きな検討をしていただけますと幸いです。

また、『ローターアクトってどんな活動してるの?』と少しでも興味を持っていただいた際には、予定が合えばぜひローターアクトの活動報告の卓話にも伺わせていただければと思います。

今後とも地区ローターアクトをよろしくお願い申し上げます。

■ 衛星クラブ ■

鹿島臨海令和ロータリー衛星クラブ

下館さくらロータリー衛星クラブ

古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ

下妻さぬま湖畔ロータリー衛星クラブ

地区年間予定表（前期）

日	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	月	木 鹿島中央	日 RAC合同	火	金	日
2	火	金 玉造	月	水 水海道	土	月
3	水	土	火 しもだて紫水	木 水戸東	日 文化の日	火
4	木	日	水 下館	金	月 振替休日	水
5	金	月 水戸さくら	木 取手	土	火	木
6	土 クラブ奉仕研究会	火 北茨城	金 勝田	日 地区親善野球大会	水	金
7	日 第1回諮問委員会	水 日立中央	土 大洗	月	木	土 第3回AG補佐・ 総括合同会議
8	月	木 水戸好文	日	火 古河東	金	日
9	火 水戸	金 龍ヶ崎中央	月	水 つくばシティ	土 第1回会長・幹事会	月
10	水	土	火 竜ヶ崎	木 土浦	日 地区大会	火
11	木 笠間	日 山の日	水 結城	金	月	水
12	金	月 インターアクト 年次大会	木 筑西きぬ	土	火	木
13	土 R財団研究会	火	金	日	水	金
14	日	水	土	月 スポーツの日	木	土
15	月 海の日	木	日 第2回AG補佐・ 総括合同会議	火	金	日
16	火	金	月 敬老の日	水 古河中央	土	月
17	水 石岡	土 茨城E	火 日立	木 下妻	日	火
18	木 波崎	日	水 大子	金 水戸南	月	水
19	金	月 岩井	木 つくば学園	土	火	木
20	土 奉仕P研究会	火 鉾田	金 古河	日	水	金
21	日	水 常陸太田	土	月	木	土 第2回諮問委員会
22	月	木	日 秋分の日	火 土浦南	金	日
23	火 友部	金	月 振替休日	水 東海那珂	土 勤労感謝の日	月
24	水 岩瀬	土 つくばサンライズ	火 日立南	木 日立港	日	火
25	木 阿見	日 米山合同セミナー	水 水戸西	金	月	水
26	金 守谷	月	木 境	土	火	木
27	土	火 ひたちなか	金 鹿島臨海	日 ポリオ・イベント	水	金
28	日 青少年奉仕研究会	水 日立北	土	月 牛久	木	土
29	月	木 石岡87	日	火	金	日
30	火 真壁	金	月 那珂湊	水 高萩	土	月
31	水 土浦中央	土		木		火

2024-2025年度 国際ロータリー第2820地区

ガバナー公式訪問に関するお願い

ガバナー 大 高 司 郎

公式訪問は、年間予定表（22ページ参照）の通り2024年7月9日（火）から始まります。貴クラブへの訪問を実り多きものとするために、次のことをご準備、お手配くださいますようお願い申し上げます。

1. 公式訪問の際の必要書類

クラブ現況報告書

地区研修・協議会資料10ページ「公式訪問のためのクラブ現況報告書記載要領」（後項6）に準拠して作成の上、訪問日の3週間前までにガバナー事務所へ3部（ガバナー、ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所へ各1部お渡しします）、所属分区ガバナー補佐へ1部お送りください。

2. 公式訪問の日程について

クラブ活動実施場所等の見学	10：00～11：00
クラブ懇談会	11：00～12：00
例会出席	12：30～13：30
クラブ協議会	14：00～16：00

* 公式訪問において懇親会・お土産はご遠慮させていただきます。

備考

- (1) 公式訪問は原則として日帰りを予定しております。宿泊の際には、後日ご相談致します。
- (2) クラブ例会には、多くの会員の出席を奨励して下さい。
- (3) クラブ懇談会の出席者は、基本的に、クラブ会長、会長エレクト、幹事とします。
- (4) クラブ協議会の出席者において、クラブ理事、役員及び各委員長（欠席の際は副委員長又は代理者）義務出席です。特に入会3年未満の会員は原則として出席させて下さい。
- (5) クラブ協議会の司会は会長がお務め下さい。
- (6) 当日の日程スケジュールが出来ましたら、事前にガバナー事務所までお知らせ下さい。但し、集合時間・場所につきましては、1ヶ月前のご連絡をお願いいたします。

地区組織図





クラブ奉仕担当カウンセラー 大久保 博之(水戸)	奉仕P担当カウンセラー 高橋 賢吾(水戸西)	青少年奉仕担当カウンセラー 保延 輝文(石岡)	ローターアクト担当カウンセラー 中村 澄夫(東海那珂)	ロータリー財団担当カウンセラー 新井 和雄(下館)	米山記念奨学会担当カウンセラー 大野 治夫(つくば学園)
-----------------------------	---------------------------	----------------------------	--------------------------------	------------------------------	---------------------------------

クラブ奉仕
総括委員長 ◎星野 幸子 (水戸西)
会員増強 ○吉岡 隆久 (つくば学園)
井上 誠 (下妻)
篠田 吉孝 (水戸)
熊木 善一 (古河)
石井 浩一 (水戸南)
クラブサポート
○人見 光一 (水戸南)
和泉 好一 (土浦南)
鈴木 敏雄 (古河)
公共イメージ・ICT推進
○鈴木 茂美 (日立)
林 正太郎 (水戸)
滝 徳宗 (高萩)
秋山 順弘 (高萩)
松野 祐介 (水戸さくら)
山崎 哲男 (水海道)

職業奉仕
総括委員長 ◎安 圭一 (水戸)
八文字 典昭 (水戸)
柳下 文江 (水戸東)
沖山 哲夫 (つくば学園)
遠藤 榮治 (守谷)
山崎 英策 (鉾田)
社会奉仕
総括委員長 ◎關本 淳一 (土浦)
研究会担当 高野 勝憲 (つくば学園)
地区補助金担当 平島 泰裕 (つくば学園)
根本 ひろ美 (水戸東)
奉仕事業担当 菅野 しのぶ (北茨城)
国際奉仕
総括委員長 ◎平島 隆之 (土浦)
WCS・グローバル補助金担当 国際交流奨学金担当 松本 幸子 (古河東)
国際交流共同担当 タイ担当 橋本 哲 (水戸南)
ネパール担当 中島 賢一 (土浦)
フィリピン担当 中村 康博 (牛久)

青少年奉仕
総括委員長 ◎高田 稔美 (つくば学園)
インターアクト
○太田 秀夫 (日立港)
石井 秀明 (東海那珂)
埴 主税 (水戸西)
山西 裕 (水戸)
柴沼 博之 (土浦南)
野口 均 (しもだて紫水)
青少年並びにライラ
○今川 武彦 (つくば学園)
渡部 俊介 (石岡87)
内田 敬子 (鹿島中央)
青少年交換
○軽部 守彦 (下妻)
栗原 智恵子 (水戸西)
瀬戸口 進 (つくば学園)
瀬戸 隆海 (水海道)

ローターアクト
総括委員長 ◎塚越 俊祐 (つくば学園)
横須賀 靖 (水戸)
有金 重幸 (日立中央)
楠 英夫 (土浦南)
皆葉 真治 (つくば学園)
杉山 吉彦 (下館さくらRSC)
池田 遼太 (下館さくらRSC)
原 悠樹 (茨城県北RAC)

ロータリー財団
総括委員長 ◎新井 和雄 (下館)
ポリオプラス
○七野 悟 (つくばシティ)
関 康彦 (水戸)
鷺谷 一彦 (しもだて紫水)
資金管理・推進
○秋葉 良孝 (水戸)
関 康彦 (水戸)
八木 健二 (日立)
高島 章行 (日立南)
補助金
○菊池 泰正 (土浦)
地区補助金担当 ○菊池 泰正 (土浦)
申請 椿 眞里 (北茨城)
申請補 清藤 豊 (水戸東)
グローバル補助金担当
○雨宮 淳 (つくばサンライズ)
人道支援 中野 勝 (つくば学園)
奨学金・学友 田上 悟史 (水戸西)
VIT担当 岡村 太郎 (水戸南)
ロータリー平和フェローシップ
○齋藤 章 (結城)
ロータリーカード推進
○端 敦宣 (下妻)

米山記念奨学会
総括委員長 ◎神山 芳子 (下館)
米山寄付増進
○草野 朋子 (常陸太田)
江田 治雄 (下妻)
齋藤 百合子 (古河)
米山学友
○村上 義孝 (つくば学園)
岩田 光造 (水戸東)
佐谷 道浩 (古河東)
米山選考
○白岩 大樹 (牛久)
中村 武彦 (境)
中山 眞矢 (水戸西)
藤澤 昭彦 (土浦)

◎総括委員長
○委員長

2024-2025年度 国際ロータリー第2820地区

① 地区資金予算書

A. 収入の部

(単位:円)

科 目	2024-25年度 (1,900名)	2023-24年度 (1,900名)	前年度比較増	2022-23年度 (予)(2,000名)	2022-23年度 (実)	備 考
前 期 繰 越	3,400,000	6,651,000	▲3,251,000	4,150,000	4,837,691	
地 区 資 金 受 入 額	11,267,000	9,937,000	1,330,000	10,460,000	9,777,907	5,930×1,900名
地 区 大 会 余 剩 金		0	0	0	0	
規 定 審 議 会 旅 費 積 立 取 崩	600,000	0	600,000	0	0	
災 害 見 舞 取 崩		0	0		942,411	
地 区 年 鑑 積 立 金 取 崩					225,766	
特 別 積 立 金 取 崩					7,193,012	
雑 収 入		0	0	0	1,121	
合 計	15,267,000	16,588,000	▲1,321,000	14,610,000	22,977,908	

B. 支出の部

(単位:円)

科 目	2024-25年度 (1,900名)	2023-24年度 (1,900名)	前年度比較増	2022-23年度 (予)(2,000名)	2022-23年度 (実)	備 考
1. 委員会活動費等						
ク ラ ブ 奉 仕	700,000	800,000	▲100,000	800,000	895,275	
（ 会 員 増 強 ）		0	0	0	0	
（ ホームページ管理料 ）		0	0	0	0	
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	260,000	0	260,000	0	0	
職 業 奉 仕	0	80,000	▲80,000	50,000	109,000	
社 会 奉 仕	0	2,500,000	▲2,500,000	50,000	132,973	
国 際 奉 仕	0	80,000	▲80,000	50,000	15,630	
（ 友 好 地 区 担 当 ）	100,000	100,000	0	100,000	0	
青 少 年 奉 仕	1,180,000	180,000	1,000,000	150,000	301,040	
ロ ー タ ー ア ク ト	100,000	0	100,000	0	0	
ロ ー タ リ ー 財 団	300,000	300,000	0	200,000	391,500	
米 山 記 念 奨 学 会	180,000	180,000	0	150,000	150,000	
ロ ー タ リ ー の 友	50,000	50,000	0	10,000	6,790	
戦 略 計 画 委 員 会	100,000	100,000	0	100,000	0	
危 機 管 理 委 員 会	100,000	100,000	0	100,000	10,000	
諮 問 委 員 会	600,000	600,000	0	600,000	1,597,570	
地 区 ラ ー ニ ン グ 委 員 会	100,000	100,000	0	0	0	
ガ バ ナ ー 補 佐 会 議	300,000	300,000	0	200,000	200,000	
地 区 委 員 長 会 議	100,000	100,000	0	100,000	70,018	
R L I	300,000	300,000	0	300,000	222,386	
学 友 委 員 会	250,000	250,000	0	250,000	247,321	
小 計	4,720,000	6,120,000	▲1,400,000	3,210,000	4,349,503	

(単位:円)

科 目	2024-25年度 (1,900名)	2023-24年度 (1,900名)	前年度比較増	2022-23年度 (予)(2,000名)	2022-23年度 (実)	備 考
2. 補 助 金						
地 区 大 会	800,000	800,000	0	800,000	800,000	
地 区 研 修・協 議 会	650,000	500,000	150,000	500,000	506,000	
次 期 会 長 研 修 会	250,000	250,000	0	250,000	345,804	
I M	400,000	400,000	0	400,000	400,000	50,000×8分区
会 長 ・ 幹 事 会	400,000	400,000	0	400,000	535,170	
環 境 保 全 活 動 費		0	0	650,000	650,000	
次 期 ガ バ ナ ー 旅 費	800,000	800,000	0	800,000	800,000	
ガ バ ナ ー 補 佐 活 動 費	1,100,000	1,650,000	▲550,000	1,100,000	1,080,000	20,000×55RC
親 睦 活 動 費(野 球・ゴ ル フ)	50,000	50,000	0	50,000	50,000	
規 定 審 議 会 旅 費	600,000	0	600,000	0	0	
小 計	5,050,000	4,850,000	200,000	4,950,000	5,166,974	
3. 寄 付 金 ・ そ の 他						
ロ ー タ リ ー 文 庫 運 営 費	570,000	570,000	0	600,000	365,500	300×1,900名
全 国 ガ バ ナ ー 会 費	760,000	760,000	0	800,000	864,000	400×1,900名
平 和 奨 学 生 支 援 金	38,000	38,000	0	40,000	27,735	20×1,900名
旅 費	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	3,181,919	
慶 弔 費	100,000	100,000	0	100,000	302,000	
登 録 料	2,000,000	2,000,000	0	1,500,000	3,042,100	
監 査 費	30,000	30,000	0	30,000	30,000	
年 次 報 告 書 作 成 費	350,000	350,000	0	250,000	250,000	
全 国 ロ ー タ ー ア 外 研 修 会 積 立 金		0	0	0	0	
災 害 見 舞 金		0		0	942,411	
地 区 年 鑑				0	225,766	
寄 付 金		0		0	0	
雑 費	70,000	70,000	0	70,000	230,000	
小 計	5,418,000	5,418,000	0	6,390,000	9,461,431	
4. 予 備 費						
	79,000	200,000	▲121,000	60,000	0	
合 計						
	15,267,000	16,588,000	▲1,321,000	14,610,000	18,977,908	

2024-2025年度 国際ロータリー第2820地区

② 基金及び協力金予算書

(単位:円)

科 目	2024-25年度(1,900名)			2023-2024 年度(予)	2022-2023 年度(予)	2022-23年度(実)	
	一人当り	収入	支出	収入	収入	収入	支出
	1,900名			1,900名	2,000名	名	
ガバナー月信協力金	2,720	5,168,000	5,168,000	5,168,000	4,400,000	4,113,084	4,506,331
地区大会負担金	3,000	5,700,000	5,700,000	7,600,000	8,000,000	7,478,334	7,200,000
ガバナー事務所協力金	5,860	11,134,000	11,134,000	7,980,000	8,400,000	7,852,250	14,200,243
青少年交換基金	2,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	4,000,000	3,739,166	3,425,301
インターアクト基金	800	1,520,000	1,520,000	1,520,000	1,600,000	1,495,666	1,424,073
ローターアクト基金	800	1,520,000	1,520,000	1,520,000	1,600,000	1,495,666	1,290,194
ライラ基金	400	760,000	760,000	760,000	800,000	747,834	647,153
青少年育成基金	200	380,000	380,000	380,000	400,000	373,916	5,000
国際交流共同基金	100	190,000	190,000	532,000	560,000	523,484	0
W C S 基金	100	190,000	190,000	380,000	400,000	373,916	0
国際交流基金	100	190,000	190,000	1,900,000	3,040,000	2,841,766	0
ロータリー財団基金(奨学生)	100	190,000	190,000	532,000	560,000	523,484	0
茨城海岸清掃美化プロジェクト		0	0				0
地球環境保全グローバル		0	0				0
地区年鑑積立金	40	76,000	76,000	76,000	80,000	300,550	300,550
災害見舞金	0	0	0	0	0	9,450,250	9,450,250
危機管理基金	200	380,000	380,000	380,000	400,000	373,916	373,916
規定審議会旅費積立金	90	171,000	171,000	171,000	180,000	168,277	168,277
小 計	16,510	31,369,000	31,369,000	32,699,000	34,420,000	41,851,559	42,991,288
繰 越						38,923,805	
合 計	16,510	31,369,000	31,369,000	32,699,000	34,420,000	80,775,364	42,991,288

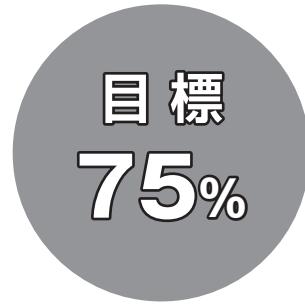
科目間の流用は可とする



国際ロータリー第2820地区

2024-25年度

My ROTARY 登録状況



2024年6月10日現在

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第1分区	日立	71	44	62.0
	日立南	34	21	61.8
	高萩	26	26	100.0
	北茨城	26	20	76.9
	日立港	33	22	66.7
	日立北	28	20	71.4
	日立中央	18	15	83.3
	合計	236	168	71.2

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第2分区	那珂湊	21	11	52.4
	常陸太田	30	21	70.0
	大子	21	6	28.6
	大洗	17	6	35.3
	勝田	26	26	100.0
	東海那珂	33	19	57.6
	ひたちなか	20	6	30.0
	合計	168	95	56.5

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第3分区	水戸	129	95	73.6
	笠間	16	16	100.0
	水戸西	70	45	64.3
	水戸南	81	57	70.4
	友部	18	13	72.2
	水戸東	64	60	93.8
	水戸さくら	35	33	94.3
	水戸好文	18	17	94.4
	合計	431	336	78.0

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第4分区	古河	50	40	80.0
	境	31	19	61.3
	岩井	8	1	12.5
	古河東	51	40	78.4
	古河中央	48	38	79.2
	合計	188	138	73.4

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第5分区	下館	27	15	55.6
	結城	23	11	47.8
	真壁	15	12	80.0
	下妻	64	21	32.8
	しもだて紫水	52	40	76.9
	筑西きぬ	12	12	100.0
	岩瀬	19	17	89.5
	合計	212	128	60.4

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第6分区	石岡	17	12	70.6
	土浦	45	25	55.6
	土浦南	87	26	29.9
	つくば学園	100	91	91.0
	石岡87	25	15	60.0
	土浦中央	10	1	10.0
	つくばシティ	53	40	75.5
	阿見	15	6	40.0
	つくばサンライズ	13	8	61.5
	合計	365	224	61.4

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第7分区	竜ヶ崎	33	19	57.6
	水海道	55	29	52.7
	取手	18	8	44.4
	牛久	38	23	60.5
	守谷	3	2	66.7
	龍ヶ崎中央	9	7	77.8
	合計	156	88	56.4

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第8分区	鉾田	28	14	50.0
	鹿島臨海	42	20	47.6
	玉造	8	6	75.0
	波崎	13	7	53.8
	鹿島中央	20	14	70.0
	合計	111	61	55.0

茨城ロータリーE	9	8	88.9
----------	---	---	------

○データは6/10現在のMy ROTARYに基づく

	会員数	登録人数	%
地区合計	1876	1246	66.4

ガバナー事務所

ガバナー

大高 司郎 (高萩)

地区幹事

大河原 浩 (高萩)
青木 正弘 (水海道)
高原 裕 (水戸)

地区会計長・財務委員長

石 君平 (高萩)

ロータリーの友地区代表委員

小森 勇一 (高萩)

地区大会実行委員長

鈴木 啓志 (高萩)

地区副幹事

金澤 好利 (日立)
小野比呂志 (日立)
弓野 博司 (日立南)
荒川 浩信 (日立南)
小宅 和彦 (北茨城)
石井 栄二 (北茨城)
山口 憲生 (日立港)
鈴木 稔 (日立港)
能登 英喜 (日立北)
安藤 雅樹 (日立北)
佐藤 利和 (日立中央)
澤畠 英樹 (日立中央)
石 平光 (高萩)
鈴木 国男 (高萩)
田所 和雄 (高萩)

地区副幹事

滝 義昭 (高萩)
小谷松政紀 (高萩)
菱川 健司 (高萩)
大平 敏明 (高萩)
今川 隆 (高萩)
滝 徳宗 (高萩)
平野 浩司 (高萩)
秋山 順弘 (高萩)

月信編集委員長

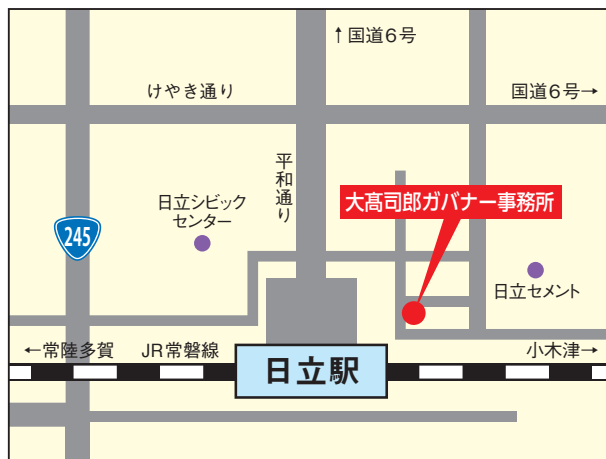
小森 勇一 (高萩)

月信編集委員

江尻 寛 (高萩)
秋山 順弘 (高萩)
鈴木 哲 (日立北)

事務局

千葉 栄子
長瀬奈美江



編集後記

ガバナー月信は、大高司郎ガバナーと各クラブの会長、幹事様をはじめ、高いリーダー意識をもって活動に取り組む会員の皆様にお届けする重要なコミュニケーションであります。

重要な情報やクラブの活動紹介等を、皆様の期待とご要望に応じて、お伝えできるどうか、素人ばかりの編集委員会ですので、大変懸念しております。

第1号では、巻頭の熱気あふれるRI会長、大高ガバナーメッセージをはじめ、創刊にふさわしい内容を掲載しております。その決意やリーダーシップを読んでもらったら、大変光栄でございます。

一方、皆様ご多忙の日々と存じますが、原稿をお願いすることも、度々ございますので特段のご協力ご支援をお願い申し上げます。1年間どうぞよろしくようお願い申し上げます。

(月信編集委員長 小森 勇一)